

別紙2 事務事業評価(事後評価)シート【令和5年度】

主管課名(担当名)	社会体育課(社会体育担当)			
事務事業名	シーサイドマラソン開催事業(会計年度任用職員給与費)	事業番号	406	
重点プロジェクト	☐ 該当 ☒ 非該当	評価時期	☐ 中間 ☒ 事後	事務区分
				☒ 自治 ☐ 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-8 スポーツ活動の推進
	施策目標	誰もが日常生活の中でスポーツ活動に親しむことができるまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	根室市民及び全国から訪れるマラソン愛好家
	対象者の今後の予想	減少
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	最東端ねむろシーサイドマラソン実行委員会主催によりマラソン大会を開催し、根室市民や遠方のマラソン愛好家に参加することにより、参加者への充実感の提供や、最東端根室の知名度向上を図る。	
意 図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	市民マラソン大会として1kmからハーフコースまで幅広い年齢層に参加いただき、また、北方領土啓発コーナーや物販コーナー等の啓発・味覚の提供などにより、走る楽しさの体感を得る。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (H30)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
			R1	R2	R3	R4	R5		
1	最東端ねむろシーサイドマラソン参加者数	-	940人	1,000人	1,192人	1,149人	688人	1,000人	1,200人
2									
3									
4									
事業費(=下記内訳計)			R5予算		R5決算		R6予算		
			1,850		2,791				
内 訳	国道支出金								
	地方債								
	その他		0		0				
	一般財源		1,850		2,791				
人員(人工)			0.00		0.00				
職員人件費(=人員(人工)×7,455千円)			0		0				
総事業費(=事業費+職員人件費)			1,850		2,791				
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)			2		4				
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)									

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	☐ 検討中 ☒ 見直し・改善済み ☐ 見直しをしたが改善に至っていない ☐ 検討していない
見直しの内容など	一部コースについて経路が複雑化していたため、第7回(R5)大会より簡素化したコースへ変更した。
今後の動向・市民ニーズなど	スタート会場、駐車場が狭隘であるため、今後、参加者が増加傾向にある場合は、会場・コース等の変更について検討しなければならない。

5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	☐ 結びついている ☒ 一部結びついている ☐ 結びついていない 前身の大会である「北方領土ノサップ岬マラソン」と比較し、短距離コースを設定する等、市民マラソン化を図り、特にファミリー層の参加者増加に結びついている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	☐ 可能 ☐ 一部可能 ☒ 不可能 実行委員会形式で主催しているが、市教育委員会が事務局として事業を行っている。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	☐ ある ☒ 一部ある ☐ ない 参加者の増加を図るため、より親しみやすい、参加しやすい大会運営が求められる。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない マラソンイベントとして、必要最低限の経費で運営しているため、事業費の縮小は困難である。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 本事業は、マラソン大会実行委員会への負担事業としているため、他の事業との統合が馴染まない。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	☐ ある ☐ 検討の必要性がある ☐ ない ☒ 既に負担がある 大会参加について、参加料の負担があり、最低限の経費で運営しているため、参加料の減額、無償化は困難である。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	☐ 現状のまま継続 ☒ 見直しのうえで継続 (☐ 拡充 ☐ 手段を見直す ☐ 効率化 ☐ 簡素化 ☒ 統合・振替) ☐ 終期設定あり (R 年度末終了予定) ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了
--------	--

作成年月日

令和6年9月